

成 城 法 学

教養論集

1

-
- 詩集の序文……………井上正蔵
——ハイネ『歌の本』第二版考——
- ヴィリエ・ド・リラダンにおける幻想……………金沢公子
——『前兆』と『ヴェラ』をめぐる——
- ひよわな牧歌、あるいは現代病理所見……………杉山隆彦
——『天の牧場』論——
- 英語教育の指向性 (一)……………安田一郎
- サッカー競技の得点推移……………恩田 裕
——その比較と分析を中心として——
- LL考察：聴解力の重要性と映像の意義……………河野 護
- SGAVフランス語教育におけるいわゆる「一言語性」
の貫徹について……………丸山愛子
——問題の所在とその克服策の検討——
-

1979

7 月

成城大学法学会

発刊にあたって

「成城法学 教養論集」第一号をお届けします。

一昨年、昭和五二年四月に成城大学法学部が開設されましたが、発足当初から、法学部スタッフの研究発表の場の一つとして、「成城法学」および「成城法学 教養論集」の二誌の刊行が企画されていきました。これら二誌のうちの前者、すなわち「成城法学」はもっぱら法律学および政治学に関する研究成果の収録を予定するもので、昨年、昭和五三年三月に第一号を刊行し、すでに既刊数号を数えるに至っております。これに対し、「成城法学 教養論集」は、一般教育担当スタッフの研究発表の舞台を企図しており、今般、関係者の努力により、一般教育担当スタッフ全員の寄稿を得て、その第一号が刊行されるはこびになった次第です。

すでに、他の機会においても明らかにしてありますように、成城大学法学部が目指そうとしているのは、国際的視野をもった法律学を研究し、教育する場を提供することにあります。このような目標への到達は容易ではないでしょう。しかし、われわれ成城大学法学部スタッフは、それぞれの研究成果をこれら二誌を通じて世に問いながら、この目標に一步ずつでも近づこうと努めております。このような意味で、「成城法学」と「成城法学 教養論集」を車の両輪にたとえることもできましよう。

「成城法学 教養論集」につきましても、「成城法学」と同様、厳正な御批判、あたたかき御評価を今後末なぐたまわれますれば甚だ幸いと存じます。

昭和五四年六月二〇日

法学部長 中川 和彦

成城法学 教養論集第一号 目次 (昭和五十四年七月十日発行)

詩集の序文……………井上正蔵……………5

——ハイネ『歌の本』第二版考——

ヴィリエ・ド・リラダンにおける幻想……………金沢公子……………27

——『前兆』と『ヴェラ』をめぐって——

ひよわな牧歌、あるいは現代病理所見……………杉山隆彦……………51

——『天の牧場』論——

英語教育の指向性 (一)……………安田一郎……………87

サッカー競技の得点推移……………恩田裕……………166

——その比較と分析を中心として——

LL考察…聴解力の重要性と映像の意義……………	河野護……………190
SGAVフランス語教育におけるいわゆる 「一言語性」の貫徹について……………	丸山愛子……………230
—問題の所在とその克服策の検討—	

執筆者紹介(掲載順)

丸 河 恩 安 杉 金 井
山 野 田 田 山 沢 上
愛 一 隆 公 正
子 護 裕 郎 彦 子 蔵

本学
助教授
本学
助教授
本学
助教授
本学
教授
本学
教授
本学
助教授
本学
教授

教養論集 第1号

昭和54年7月1日印刷
昭和54年7月10日発行

発行責任者 中川和彦
編集者 成城大学法学会
発行者 成城大学法学会

東京都世田谷区成城6-1-20 (〒157) TEL 482-1181 (代)

印刷所 白陽舎印刷工業株式会社 東京都江東区白河1-4-11 (〒135)
